

2026年度

ロシア語科

2年生 シラバス

目次

科目名	担当者名	ページ
実用ロシア語会話	イリイナ・タチヤーナ	1
実用ロシア語文法	スレイメノヴァ・アイーダ	2-3
ロシア語リスニング	イリイン・ロマン	4-5
ロシア語講読	デルカーチ・フョードル	6
通訳翻訳入門	デルカーチ・フョードル	7
英語	イリイナ・ソフィア	8-9
ロシア経済	プラーソル・アレクサンドル	10
ロシア史	倉田 有佳	11-12
ロシア文学史	スレイメノヴァ・アイーダ	13
ロシア文化史	デルカーチ・フョードル	14
体育	小林 礼	15
ゼミナール外国語としてのロシア語	スレイメノヴァ・アイーダ	16-17
法学入門	若山 優華	18
論文作成	倉田 有佳	19

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）・後期（16週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ）総124時間		
授業概要・学習到達目標			
教科書内容に添った語彙習得により、テキストを理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることや会話を覚えることにより自己ロシア語会話力をつける。担当教師の質問に答え、また自らもロシア語でテキストを作成することができる。			
評価方法			
試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～10	第10課 テキスト《兄弟の涙》／《アルバート通り》／《新アルバート大通り》／《プーシキン》。指小形。会話。
11～21	第11課 テキスト 《インタビューを受けるスポーツマンの妻》／《りんごの実がならない木》／《うそは続かない》。会話
22～30	第12課 テキスト 《カフェで》／《私の一週間》／《三人の教え子》／《北ロシア地方》。造格。会話。
【後期】	
1～13	第13課 テキスト《教授と学生》／《ペチャちゃんの誕生日》／《ポリショイ劇場の初めての訪問》／ 指小形。会話。電話での会話。
14～30	第14課 のテキスト《レールモントフ家族》／《現代のロメオとジュリエット》《レールモントフ第二テキスト》／《レールモントフ 第三 テキスト》 会話。質問に答える能力。
31～32	第15課 テキスト《オレーグさんについて》／。会話。生格。
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方第1部、第2部、(ズラトウスト)。配布プリント	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）、後期（16週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）、後期64時間（週2コマ） 総124時間		
年授業概要・学習到達目標			
文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。			
評価方法			
小テスト、宿題の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス、復習としての第10課、対格、前置詞格の名詞；代名詞；
2-14	<p>第10課、名詞の複数、無人称文；第11課、形容詞、《этот》, 《эта》, 《это》, 《эти》等の代名詞</p> <p>第12課、形容詞、副詞；比較（《более》-《менее》；《такой же, как...》）；比較級、最上級；《который (-ая, -ое, -ые)》関連語；《хотеть》「～したい」、《мочь》「できる」、《должен (жна, -жно)》「しなければならない」；第13課、《любить》, 《готовить》, 《экономить》の動詞、その命令形</p> <p>第14課、文章の構造；直接語法、間接語法；否定代名詞</p> <p>第15課《5 Элементов》(A1) 前置格（場所、外・中の関係、前置詞、何について～、誰について～；代名詞の前置格；例外）；形容詞、副詞の最上級、比較級；テスト</p> <p>第16課、移動の表現（動詞に目的語を付けてみること；場所、方向を表す名詞、代名詞、直接目的語）；《идти》, 《ходить》移動の動詞。小テスト；第17課、目的を表す表現（「何をしに行く」）；小テスト</p> <p>第18課、「教える・習う・学ぶ」。「できる」、「身につけた」、順序形容詞、「最後の～」と「最初の～」、年月日</p> <p>第19課、第3人称動詞の使い方；《-да-》, 《-ста-》, 《-зна-》語幹の動詞、過去形《был, -а, -и》と《буду, -ет》未来系の使い方；頻度に関する表現、規則（前置詞格、対格）；スポーツ・ゲーム、楽器に関する文法と表現</p> <p>第20課、「飲む」、「食べる」、「洗う」と対格の名詞、代名詞、小テスト、何のために飲む、「食べる」、その命令形；第15-20課の復習、テスト；</p>
15	まとめ、復習。

【後期】	
1	ガイドンス、A1 の復習；第 21 課、生格（数量の表現。名詞、形容詞、所有代名詞の生格形）；否定文の生格；否定代名詞。
2-11	<p>第 22 課、《видеть》、《смотреть》；《слышать》、《слушать》の動詞の相違；活動体の生格（対格）；関係代名詞。</p> <p>第 23 課、《писать》、《резать》、《искать》等の動詞と対格の名詞；《плакать》の動詞、その命令形</p> <p>第 24 課、動詞の体（不完了体と完了体の相違、前接頭辞と後接頭辞）</p> <p>第 25 課、数詞と生格（2, 3, 4 の単数生格；5, 6…《много》、《мало》の複数の生格）、入物の生格《ова-》、《-ева-》の動詞；その命令形；無（非）人称文</p> <p>第 26 課、《идти》、《пойти》移動の動詞。《для》、《без》、《кроме》前置詞と生格、目的語と義務を表す表現。入物と生格、単数名詞の生格と複数名詞の生格。時間の表現</p> <p>第 27 課、「（誰か）にしてほしい」という文の例；「欲しがっている」；《такой же, как…》、《другой》比較の形容詞、《так же, как…》副詞；所有関係と《у кого》の生格；「どこから」、「どこへ」の生格と対格と前置詞格；小テスト</p> <p>第 28 課、《искать》、《найти》、《находить》動詞、その命令形；《находить》、《находиться》動詞の相違</p> <p>第 29 課、代名詞の副詞（《оттуда》、《отсюда》）；移動の動詞（《ехать》、《ездить》、《садиться на…》、《сесть на…》）；《идти》、《ходить》、小テスト</p> <p>第 30 課、《до》、《после》、《во время》前置詞と生格；《брать》、《взять》、《принимать》、《принять》（「取る」、「手に入れる」）の動詞；テスト</p>
12-16	<p>第 31 課、《брать》、《взять》、《покупать》、《купить》、《продавать》、《продать》（「取る」、「買う」、「売る」）の動詞；名詞、代名詞の与格</p> <p>第 32 課、動詞の体（前接頭辞の場合；前接頭辞のない場合）；《можно》、《нужно》（+《было》、《будет》）義務に関する文；形容詞の短語尾形</p> <p>第 33 課、動詞の体（様々な例）；直接話法と間接話法；まとめ、復習。</p>
教科書・参考書・資料・参考文献	
Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1: 抜粋版) Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A2: 抜粋版) そのほか、随時プリント類適宜 配布。	

科目名	ロシア語リスニング	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）・後期（16週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）・後期32時間（週1コマ）総62時間		
授業概要・学習到達目標			
様々な場面でのロシア語会話を、正しく聞き取れるようにする。ロシアの映画の資料では、「話す」「読む」「書く」「聞く」の4つのスキル習得して、映画の文化的背景について考察し、表現の理解を深める。			
学習上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業には集中して臨むこと。新しい語彙・文法は確実に覚えてから演習に入ること。 ・新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。 			
評価方法			
試験、ザチョット、小テスト			

授業計画・内容			
【前期】			
1	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード1
2	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード2
3	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード3
4	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード4
5	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード5
6	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード6
7	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード7
8	映画 «Мелодии белой ночи»	「白夜の調べ」の視聴、練習問題	エピソード8
9	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード1
10	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード2
11	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード3
12	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード4
13	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード5
14	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード6
15	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード7
【後期】			
1	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード8
2	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード9
3	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード10
4	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード11
5	映画 «Служебный роман»	「職場恋愛」の視聴、練習問題	エピソード12
6	映画 «Сирота казанская»	「カザンのみなし子」の視聴、練習問題	エピソード1

7	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 2
8	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 3
9	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 4
10	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 5
11	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 6
12	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 7
13	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 8
14	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 9
15	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 10
16	映画 «Сирота казанская» 「カザンのみなし子」の視聴、練習問題 エピソード 11
教科書・参考書・資料・参考文献	
映画のスク립ト、随時プリント類	

科目名	ロシア語講読	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）総30時間		
授業概要・学習到達目標			
一年次に履修の「ロシア講読」に引き続き、文法の知識に裏付けされたテキストの読み取りの能力を養う。語彙を増やし、新たな表現を学ぶことで、より難度の高いロシア語文を読み取る読解力を身に着けるための基礎作りをする。			
評価方法			
各ストーリーの試訳と読了後の清書提出を課題とする。その他に単語テスト、3話ごとの小テストと学期末試験の総合評価とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～2	第10話 «О чём думает марабу?» 「マラブーは何を思うか」
3～4	第11話 «Как я встречал Новый год» 「新年の出来事」
5～6	第12話 «Любимый праздник» 「一番好きな祝日」
7	中間テスト
8～9	第13話 «Солистка оперы» 「オペラのソリスト」
10～12	第14話 «Мимозы» 「ミモザ」
13～15	第15話 «Верное сердце» 「誠実な心」、総復習
教科書・参考書・資料・参考文献	
S・コーネワ「実用ロシア語講読」、付属CD	

科目名	通訳翻訳入門	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）・後期（16週）		
時間数	前期90時間（週3コマ）・後期64時間（週2コマ） 総154時間		
授業概要・学習到達目標			
ロシア語のみならず文章を読んでいく中で、ロシア文化、ロシア史、ロシア政治体制なども理解できるようになる。			
評価方法			
学生は授業中のノートをPCで行う。各課の終わりに、ノートを自分で修正してe-mailで教員に提出。教員は、学生のノートに修正やコメント等を入れ、評価を付けて学生に送り返す。前期の成績評価は、提出されたノートの平均点数で決める。後期の期末は、ノートの他に、期末テストを行う。最終評価は、ノートの評価と期末テストの評価の平均点数で決める。合格点は60%以上とする。			
授業計画・内容			
【前期】			
1	ガイダンス		
2～6	第1課 三頭の熊		
7～11	第2課 日本における女性		
12～15	第3課 狐と鶴		
16～19	第4課 ロシアにおける教育制度		
20～24	第5課 トルストイに会える場所		
25～29	第6課 ロシアの白樺		
30～34	第7課 ロシアの人形		
35～38	第8課 ロシア美術の宝蔵		
39～43	第9課 ロシアのショール		
43～45	第10課 ロシアの焼成人形		
【後期】			
1～4	第11課 ジョストヴォの花模様		
5～10	第12課 プーシキンの屋敷		
11～17	第13課 チャイコフスキー		
18～23	第14課 プーシキン美術館の忘れられた創立者達		
24～28	第15課 ロシアで日本を探す		
29～32	第16課 ロシア料理とは、年末試験への準備		
教科書・参考書・資料・参考文献			
С. Ильин 著、「Практика перевода」、ロシア極東国立総合大学、2020年 担当者作成の配布資料			

科目名	英語	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）・後期（16週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ）総124時間		
授業概要・学習到達目標			
<p>大学生にとって身近な様々な社会問題を取り扱ったレクチャーを聞く。大意の掴み方、細部の聞き取り、ノートテイキングの技術、パブリックスピーチの方法、パブリックスピーチの組み立て等を学び、各課の終わりには実際のテーマについての口頭発表を行う。</p>			
評価方法			
<p>5（90～100%）、4（80～90）、3（70～80）不合格（～69%） 各課ごとに単語テスト、内容把握の筆記試験、口頭発表の試験を行う。 宿題 10%、出席 10%、各課のテスト（筆記と口頭）50%、最終テスト 30%</p>			
授業計画・内容			
	【前期】		【後期】
1	ガイダンス、 Lesson1 Education and student Life		Lesson6 Global Connections
2	Review of Basic Verb Tenses		Compound and Complex Sentences
3	Lecture about academic honesty		Body language
4	How to understand and describe locations		How to participate and give a survey
5	Common irregular verbs		Future Time
6	Test		Complex Sentences
7	Lesson2 City Life		Test
8	Nouns and Articles		Lesson7 Language and communication Clauses of Time
9	Discuss the issue of gun safety		Differences between American and British English
10	Different forms of address between people		Interjections
11	The with Proper Nouns		Transitions
12	Test		The Past perfect Continuous Tense
13	Lesson3 Business and Money		Test
14	Modal Auxiliaries and Related Structures		Lesson8 Tastes and Preferences
15	Lecture about the process of starting your own company.		Adjectives and Adverbs
16	Ways of spending and saving money.		Lecture about changing fads and fashions
17	Adjective Clauses		Writing an online profile
18	Test		Superlative forms

19	Lesson4 Jobs and professions	Test
20	The Perfect Tenses	Lesson9 New Frontiers
21	Practice a job interview	The Passive Voice
22	Typical day of a househusband	Giving a speech to persuade
23	The Past Perfect Tense	Learn to express interest or surprise
24	Test	Modal Auxiliaries
25	Lesson5 Lifestyle Around the World	Test
26	Phrasal Verbs and related structures	Lesson10 Ceremonies
27	Changes in American families	Adjective Clauses
28	Charts and line graphs	Use of water in traditional ceremonies
29	Participles and Adjectives Followed by Prepositions	Congratulations and sympathy
30	Test	Hope and Wish; Present and Future
31		Past wishes and conditions
32		Test
教科書・interactions2 Listening/speaking		
Judith Tanka/Lida R. Baker Mcgraw-Hill, New York, 2014		
各テーマにつき小冊子を配布する。		

科目名	ロシア経済	担当教員	アレクサンドル・プラーソル
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	後期（16週）		
時間数	後期32時間（週1コマ）		
授業概要・学習到達到達目標			
この授業の目的は、驚異的な経済発展を続けるロシア経済に焦点をあつて経済発展メカニズムとその独特性を分析するとともにロシア経済が抱える問題点について分析しロシア経済の原動力の理解を高めることである。			
評価方法			
期末に行う筆記試験の成績に出席を加味する。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持ち込みを可とする。日頃の講義を真面目に受けていれば不合格を心配はない。			

授業計画・内容	
【後期】	
1	経済システムの基本
2	取引の理念
3	ロシア経済システムの基本
4	お金の流れとロシア社会
5	銀行の制度
6	需要と供給構造
7	市場形成の特徴
8	不完全競争市場の現状
9	政府と市場の関係
10	ロシアの金融市場
11	ビデオ教材
12	外国為替と国際収支
13	経済活動の基本
14	国内総生産（GDP）
15	失業の調整
16	インフレーションのメカニズム
17	ロシアのマクロ経済
18	金融政策の特徴、環境と経済の関係
19	経済成長の特性
20	環境と経済関係
教科書・参考書・資料・参考文献	
授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進める。理解を助けるために反書を多く用いるが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補う。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布する。	

科目名	ロシア史（前・後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）・後期（16週）		
時間数	前期15週2時間・30時間 後期16週2時間・32時間 総62時間		
授業概要・学習到達目標			
日本とロシア（ソ連）の双方の研究者の視点からロシア史の基本的な流れを理解することを目指す。後期に入ってから、個別のテーマを通して、ロシアを多面的に捉え、理解することを目標とする。			
評価方法			
出席（30％）授業態度（20％）課題・提出物（10％）試験（40％）			

授業計画・内容	
1	ガイダンス、ロシア史の基礎知識の確認
2	ロシア史の揺籃時代（東スラヴ人以前に出現した非スラヴ系遊牧民族）
3	映画「イーゴリ公」鑑賞
4	リューリク（王）朝①
5	リューリク（王）朝②
6	キエフ・ルーシ①
7	キエフ・ルーシ②
8	キエフ・ルーシ③
9	タタールのくびき①
10	タタールのくびき②
11	モスクワ公国時代①
12	モスクワ公国時代②
13	イヴァン四世
14	映画「イワン雷帝」鑑賞
15	ザチョット
【後期】	
1	異教 ドイツ騎士団
2	ポーランド・リトアニア公国
3	スムータ（動乱）へ
4	スムータ（動乱）の時代
5	初期ロマノフ朝のロシア（アレクセイ・ミハイロヴィチ、ソフィア）
6	ロマノフ王朝（ピョートル1世）
7	ロマノフ王朝（ピョートル1世の近代化改革）

8	ロマノフ王朝（女帝の時代：エカテリーナ一世・アンナ・エリザヴェータ）
9	ロマノフ王朝（女帝の時代：エカテリーナ二世）
10	ロマノフ王朝（パーヴェル一世からアレクサンドル一世へ）
11	ロマノフ王朝（アレクサンドル一世）
12	ロマノフ王朝（ニコライ一世）
13	ロマノフ王朝（アレクサンドル二世）
14	ロマノフ王朝（アレクサンドル三世）
15	ロマノフ王朝（ニコライ二世）
16	ソ連史（二月革命から十月革命へ）
教科書・参考書・資料・参考文献	
適宜参考図書や論文を使用・配布。	

科目名	ロシア文学史	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期；後期		
時間数	前期15週（30時間） 後期16週（32時間） 総62時間		
授業概要・学習到達目標			
ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。			
評価方法			
試験、小テスト、宿題（Google Forms）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。			
授業計画・内容			
前期			
1-3	ガイダンス、ロシア文学のはじまり；文学の種類とジャンル。ロシア文学の特徴など		
4-6	年代記、キエフ・ロシア崩壊後；14～17世紀の文学の流れ		
7-9	18世紀の文学；ロシア詩法の確立、ロモノーソフ；ロシアの劇場の成立；古典主義の衰退と		
10-11	文体の改革 ロマン主義潮流、文学的団体、カラムジン（『哀れなリーザ』）ラジューシェフ（『ペテルブルグからモスクワへの旅行』）、ジュコーヴスキー、クリローフ（寓話）、グリボエドフ（『知恵からの悩み』）		
12-15	国民詩人プーシキンとその著作。「ロシアの生活の百科事典」としての『エブゲーニイ・オネーギン』、主な主人公、文体の特徴。写実主義の確立、典型的な形象、典型的な形象。復習。		
授業計画・内容			
後期			
1-4	プーシキンの晩年時代：『ベールキンの物語』『スペードの女王』『大尉の娘』『小悲劇』。		
5-8	レールモントフ、その詩；レールモントフの創造活動、『現代の英雄』という長編小説		
9-12	ゴーゴリ、その作品。ウクライナ時代の作品（『デイカーニカ近郷夜話』、『隊長ブーリバ』）；ペテルブルグ物語（『鼻』、『外套』）、主人公；風景）		
13-16	ゴンチャロフの創造と活動：「平凡物語」、「オブローモフ」、「断崖」、紀行文「パラダ軍艦」；復習		
教科書・参考書・資料・参考文献			
各著者の原作からの抜粋（PDF ファイルの電子資料、プレゼンテーション）を随時プリントで配布。			

科目名	ロシア文化史	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）総30時間		
授業概要・学習到達目標			
20世紀のロシア・ソ連の文化遺産は極めて大きく、この15週間の短い間には、主に絵画と歌をプリズムにして、国民の世界観と価値観の変化について説明する。同時に、歌の歌詞の読解練習によって、ロシア人の美観等の理解を更に深める。			
評価方法			
中間テスト、期末試験、学年末試験			

授業計画・内容	
1	第一部 画家ミハイル・ヴルーベリ（1856-1910）
2	芸術団「Мир Искусства」とロシアのアールヌーボー
3	ロシアの抽象美術の始まり： 芸術団「Голубая Роза」、素朴派、V・カンディンスキーの理論
4	ロシアのアバンギャルド：K・マレーヴィッチ、V・タトリン、L・リシツキー、A・ロトチェンコ等
5	第二部 終期ロシア帝国の音楽と歌
6	革命と国内戦争時代の行進曲
7～8	歌に映された戦前・戦争時代のソ連文化
9～10	戦後時代の歌に映されたソ連文化の発展
11～13	1970～80年代の終期ソ連の文化と歌
14～15	ソ連崩壊後のロック／ポップ文化
教科書・参考書・資料・参考文献	
参考資料：	
第一部：配布プリント、PPTプレゼンテーション	
第二部：《Русская и советская песня XX века》、函館 2023	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）、後期（20週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総70時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、健康で過ごすための運動の必要性を知り、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1-2	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 縄跳び
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	3-4	体づくり運動⑦ 体力を高める運動 ウォーキング
3	体づくり運動② 体力をほぐし運動	5-8	球技：卓球 ネット型①～④
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	9-11	球技：バスケットボール①～③
5-6	体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング	12	体づくり運動⑧ 体力を高める運動 縄跳び
7-8	球技 ネット型：バドミントン①～③	13-15	球技：サッカー①～③ ボールコントロール
9	体力測定	16-18	球技：バレーボール①～③
10-12	球技 ネット型：バドミントン④～⑥	19	まとめ
13-14	体づくり運動⑤ ウォーキング	20	実技試験
15	実技試験		
教科書・参考書・資料・参考文献			

科目名	ゼミナール 外国語としてのロシア語	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）		
年授業概要・学習到達目標			
初級文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。格変化、動詞の変化の理解を深める。基礎の習得のために復習をする。補助教材を用い文法強化を図る。一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。露和・和露辞書を利用する。			
評価方法			
テストと期末試験の他に提出課題の結果と出席状況から判定する。			

授業計画・内容	
【前期】	
1-15	<p>УРОК 1 Члены предложения 文の成分 Главные члены предложения 文の主成分</p> <p>УРОК 2 Нераспространенное и распространенное предложение 不拡大文と拡大文</p> <p>УРОК 3 Второстепенные члены предложения 文の二次的成分</p> <p>УРОК 4 Выражение главных членов предложения 主成分の表現 Выражение подлежащего 主語の表現</p> <p>УРОК 5 Выражение второстепенных членов предложения 二次的成分の表現 Дополнение 補語 Прямое и косвенное дополнение 直接補語と間接補語</p> <p>УРОК 6 Определение定語 一致定語 Притяжательное местоимение 物主代名詞 Сравнительная степень прилагательного 形容詞比較級 Наречие 副詞</p> <p>УРОК 7 Приложение 付語</p> <p>УРОК 8 Обстоятельство 状況語 Обстоятельство места 場所の状況語 Обстоятельства с предлогами 場所の状況語に使われる前置詞の用法</p> <p>УРОК 9 Обстоятельства времени 時間の状況語</p>

	<p>Наречия времени 時間の副詞 Местоимения 代名詞 Существительные с предлогами 前置詞をともなう名詞 Деепричастия и деепричастные обороты 副動詞と副動詞的表現 Предлоги обстоятельств времени 時の状況語に用いられる前置詞の用法 УРОК 10 Обстоятельства образа действия 様態の状況語 Обстоятельства цели 目的の状況語 Обстоятельства причины 原因の状況語</p>
<p>教科書・参考書・資料・参考文献</p>	
<p>С. И. Ильин Основы русского синтаксиса. (ロシア語構文の基礎) Учебное пособие для японских студентов по курсу «Особенности грамматики русского языка» 2 курс (2016年)</p>	

科目名	法学入門	担当教員	若山 優華
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科 ※ロシア語科は選択科目	学 年	第2学年
開講期	前期（8週）		
時間数	前期16時間（全8回）総16時間		
授業概要・学習到達目標			
論理的思考が向上し、様々な利益の考慮ができるようになる。 日常的に生じうる法律問題について基礎的知識を身に着ける。			
評価方法			
出席（50％）授業態度（20％）試験（30％）			

授業計画・内容	
1	オリエンテーション
2	刑事手続と法
3	家族と法
4	民事手続と法
5	法文書作成
6	労働と法
7	交通事故と法
8	筆記試験
教科書・参考書・資料・参考文献	
なし	
各回、プリントを適宜配布する。	

科目名	論文作成（後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	後期（10週）		
時間数	後期10週2時間・20時間 総20時間		
授業概要・学習到達目標			
①レポートや論文作成のために必要な資料の検索や収集方法、②序文・結語の書き方、註のつけ方、③課題解決能力や プレゼンテーション能力を身に付ける。			
評価方法			
出席（30％）レポート（70％）			

授業計画・内容	
1	ガイダンス。各種検索（国立国会図書館・北海道大学附属図書館・CiNii（NII 学術情報ナビゲータ [サイニィ]）等、研究の調査資料の収集方法を学ぶ
2	各種検索方法を使い資料の収集、文献目録作成の練習しながら学年レポートのテーマの検討（2年次のテーマは「中世ロシア史」）
3	テーマの決定
4	学年レポート作成
5	学年レポート作成
6	学年レポート作成
7	学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注）
8	学年レポートの体裁を整える（参考文献一覧の作成）
9	ザチャット週間が始まる前の週の最終日に指導教官に提出
10	訂正箇所を直した上で完成、学校にデータで提出
教科書・参考書・資料・参考文献	
ガイドブックおよび引用註の様式を配布する。論文執筆に必要な参考図書や論文などは、論文指導の中で適宜紹介する。	